

Q 三高港の整備計画は

水口 直樹 議員

A 要望活動を強力に進める

市長

Q 三高港の整備計画は、旧沖美町から市に引き継がれているが、現時点どのように考えているか。

A 新市建設計画では、三高港を能美島北部地域における広島市への

玄関口と位置付け、三高港整備構想の具体化に取り組むこととしている。本市における港湾整備事業は、地域の活性化だけでなく市民の根幹的な公共交通機関として、必要不可欠で極めて重要な政

策課題だと思っている。そのため、小用・中田港について港湾整備事業の確保及び継続、今後は三高港を含めた計画的な整備事業について、国や県に向けて積極的に提案働き掛けをしていく。



▲フェリーが発着する三高港

Q 遊休施設の活用を

太刀掛 隼則 議員

A 有効利用を図りたい

市長



▲旧江田島町議会の議場

Q 10月には市議会議員の選挙があり定数26名となります。旧江田島町の議場は26議席・傍聴席、それに会議室等々があり最適と考えます。なお、議会棟は目的外使用すべきでない。

A 農村環境改善センターは本来の目的施設としてお返しする。既設の施設を活用するというのであれば改修費用等、諸準備も必要です。早期に議会で協議をいただき、その意向を尊重しながら考えたい。

Q 旧江能広域事務組合(借地代160万円)あとに、JA呉中町支店2階(賃貸料220万円余り)を借り入居している教育委員会をここに移動すれば経費の節減になる。施設の活用が図られる。

A 財政的に苦しい中で、無駄な支出は控えないければならず、施設の統廃合、管理の見直し、改修等の必要性も含めて、行財政改革の中で、協議しながら有効利用を図っていききたい。

Q 指定管理者制度について

片平 司 議員

A 適切な対応を図る

市長

Q 平成15年6月、政府は地方自治法を改正して「公の施設」の管理・運営について、民間営利企業にも任せられることになったが、利益追求が優先され、公平公正な運営が保証されないのでは。

A 指定管理者制度導入に際しては、そのようないかなるよう適切な対応を図りたい。

Q 平成15年の国会で、次世代育成支援対策推進法が成立。本市の次世代育成支援行動計画について、①合併前までは

放課後児童クラブが無料であった地域を有料化した理由。②乳幼児医療費一部負担導入は、小児医療充実の趣旨に反する。③病後児保育の具体化がされていないが、④良質なファミリー住宅の供給は、

A ①減免規定を定め運用している。②県の制度に合わせた。③小児科医、関係団体と調整、施設整備など課題が多い。今後検討していきたい。④居住水準の確保、バリアフリー住宅の確保に努力する。



▲屋内スポーツの拠点施設 市スポーツセンター

Q 若者の定住対策は

石下 洋子 議員

A 住宅建設等を検討

市長



▶改築された美能公営住宅(沖美町美能)

Q 出生率を伸ばし、若者定住を図るため、どんな対策をするのか。

A 次世代育成支援行動計画に基づく諸施策を推進する。分譲地の販売や若者向け住宅を検討する。

Q 地球温暖化対策を推進する京都議定書が発効した。市は、どんな温暖化対策を考えているのか。

A 全庁舎での節電と文書の電子化に努める。太陽光発電を普及する。

Q 共働き家庭のため、土日開庁が必要ではないか。

A 開庁は、考えていない。

Q 検診料の値上げ、検診場所を三力所(大須・津久茂・秋月)減、集団検診を個人検診(二

度検診)にした理由は、検診料は、各町の平均。検診場所減は、能美3町に合わせた。個別検診にしたのは、都合のいい時に受診でき、時間短縮になるため。